

まとめ

- 中咽頭癌治療5年後より生じた嚥下障害、誤嚥に対して
外来リハを実施し、3年間経口摂取を継続している。
- リハビリテーションとして
代償的アプローチとして嚥下姿勢の指導、食形態の指導をした。
治療的アプローチとして頭部挙上訓練が有効であった。
誤嚥性肺炎対策として口腔衛生と排痰指導をした。